



振動応用技術で、世界をひらく

高周波 4 8 V シリーズ 自動運転配電箱 取扱説明書



A D S

★お買い上げありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

エクセン株式会社

☆ 安全情報

- ☆ この製品は高周波パイブレータ48VシリーズのADS（自動運転配電箱）です。
高周波パイブレータ48Vシリーズを使用する目的以外では使用しないでください。
- ☆ 製品の安全性については十分に配慮していますが、この説明書の危険、警告、注意をよくお読みいただき正しくお使いください。また、ADV型パイブレータおよび電源機器の取扱説明書もお読みください。
- ☆ 下記の表示は万一にも他人や自分に障害や損害を与えることのないように、この製品を使用していただくための危険表示・警告表示・注意表示です。



危険

(DANGER)

【危険】は、死亡または重傷を負う可能性のある切迫した危険な状況を示す表示



警告

(WARNING)

【警告】は、死亡または重傷を負う可能性のある危険な状況を示す表示



注意

(CAUTION)

【注意】は、軽傷または中程度の障害を負う可能性のある危険な状況を示す表示



(死亡事故を受けないために)

- ⚠ この製品は水・湿気・塵などのある場所では使用しないでください。感電する恐れがあります。
- ⚠ この製品は高周波 48 V 専用です。
48 V 以外の電圧では使用しないでください。感電する恐れがあります。
- ⚠ 電源機器の運転中におけるプラグの抜き差しは行わないでください。感電する恐れがあります。



(障害や損害を受けないために)

- ⚠ ケーブルを配電箱に接続した状態で引っ張らないでください。配電箱が転倒し、ケーブルの導体が断線する恐れがあります。
- ⚠ この製品は雨や水が掛からないように心掛けてください。電源機器やバイブレータなどの故障の原因になります。

○ ま え が き

このたびは高周波バイブレータ48VシリーズのADSをお買い上げいただきありがとうございます。
ございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

この製品の性能を十分に理解して適切な取り扱いと点検整備を行い、いつまでも安全に効率よく使用されるようお願いいたします。なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

も く じ

☆ 安全情報	1
○ ま え が き	3
○ 安 全	4
○ バイブレータ使用可能台数	6
○ システム構成	7
○ 各部の名称	8
○ 操作上の説明	9
○ 接続例および動作確認	10
○ 使用後の清掃・搬出	11
○ 点 検	11
○ 故障診断	12
○ 仕様・製品寸法	14

○ 安 全



(作業上身を守るために)

- 作業する場合は安全帽・防振手袋・安全靴・防音保護具・顔面保護具（保護眼鏡・マスク）および安全ベルトを着けて、安全な装備で行ってください。



安全帽着用



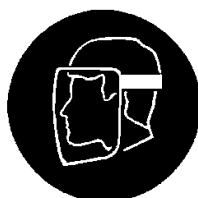
防振手袋着用



安全靴着用



防音保護具着用



顔面保護具着用



安全ベルト着用

- この製品を点検する場合は電源機器に接続しているケーブルを必ずはずしてください。
感電する恐れがあります。



(未永く使用していただくために)

- ⚠ バイブレータのプラグは接触不良にならないよう確実に接続してください。接触不良はバイブレータが故障する主な原因の一つです。
- ⚠ バイブレータの使用可能台数を越えないように使用してください。打設能力の低下や機器の故障を招く恐れがあります。
- ⚠ A D S に付いているゴム製の平型コネクタが入力、樹脂製の丸型コンセントが出力になっています。間違えないように注意してください。
- ⚠ 本製品はA D V 型バイブレータ専用となります。出力コンセントの差し込みは凹凸を合わせ無理に差し込まないでください。

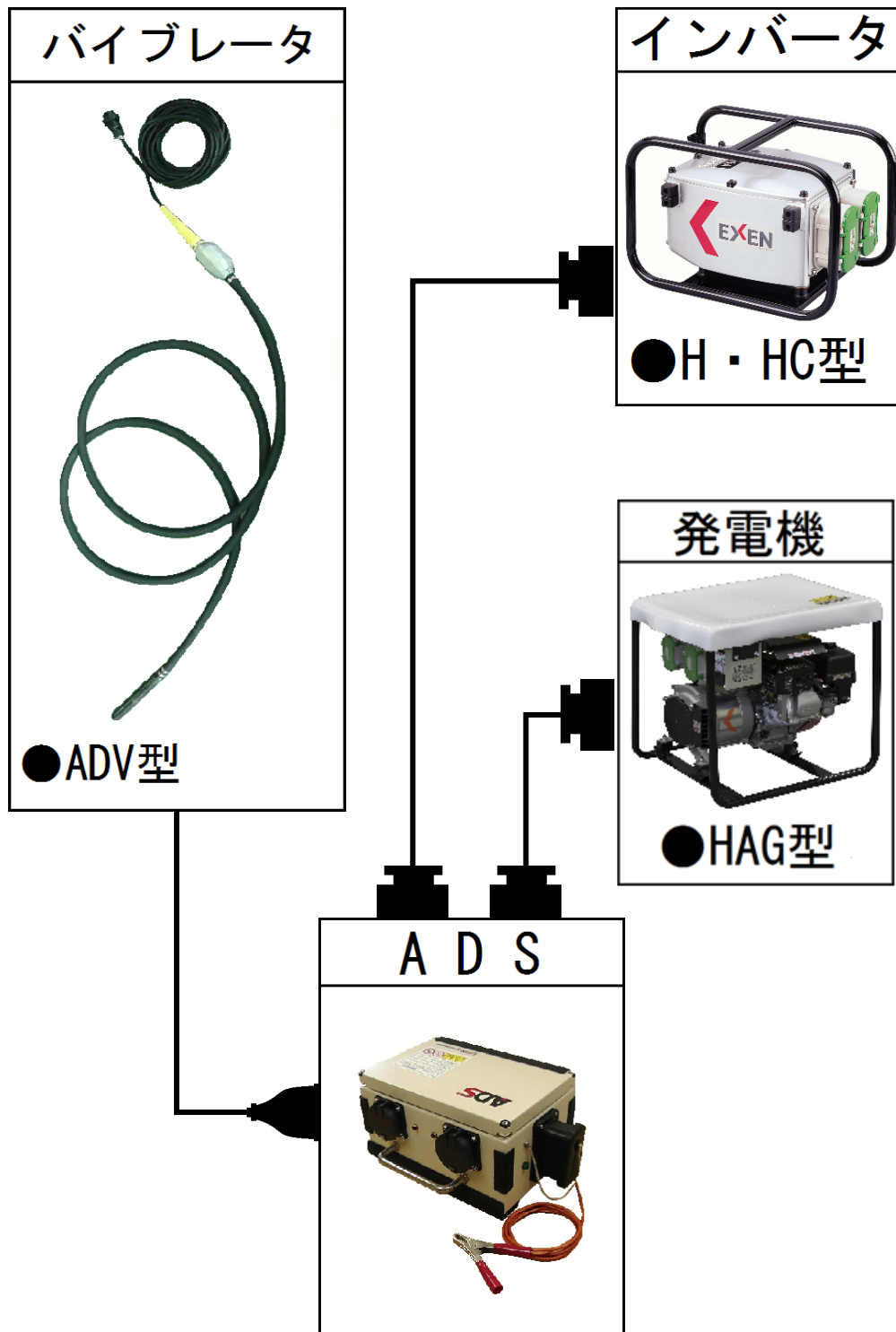
○ バイブレータ使用可能台数

インバータ	使用可能台数	
	ADV 4 0	ADV 5 0
HC 1 1 1	1	1
HC 1 1 3	1	1
HC 1 1 6	2	1
HC 2 3 0	4	2

※ この製品はインバータ、または発電機の出力の一部を電源として利用しています。そのためインバータ、または発電機のバイブレータ使用可能台数よりも少なくなります。

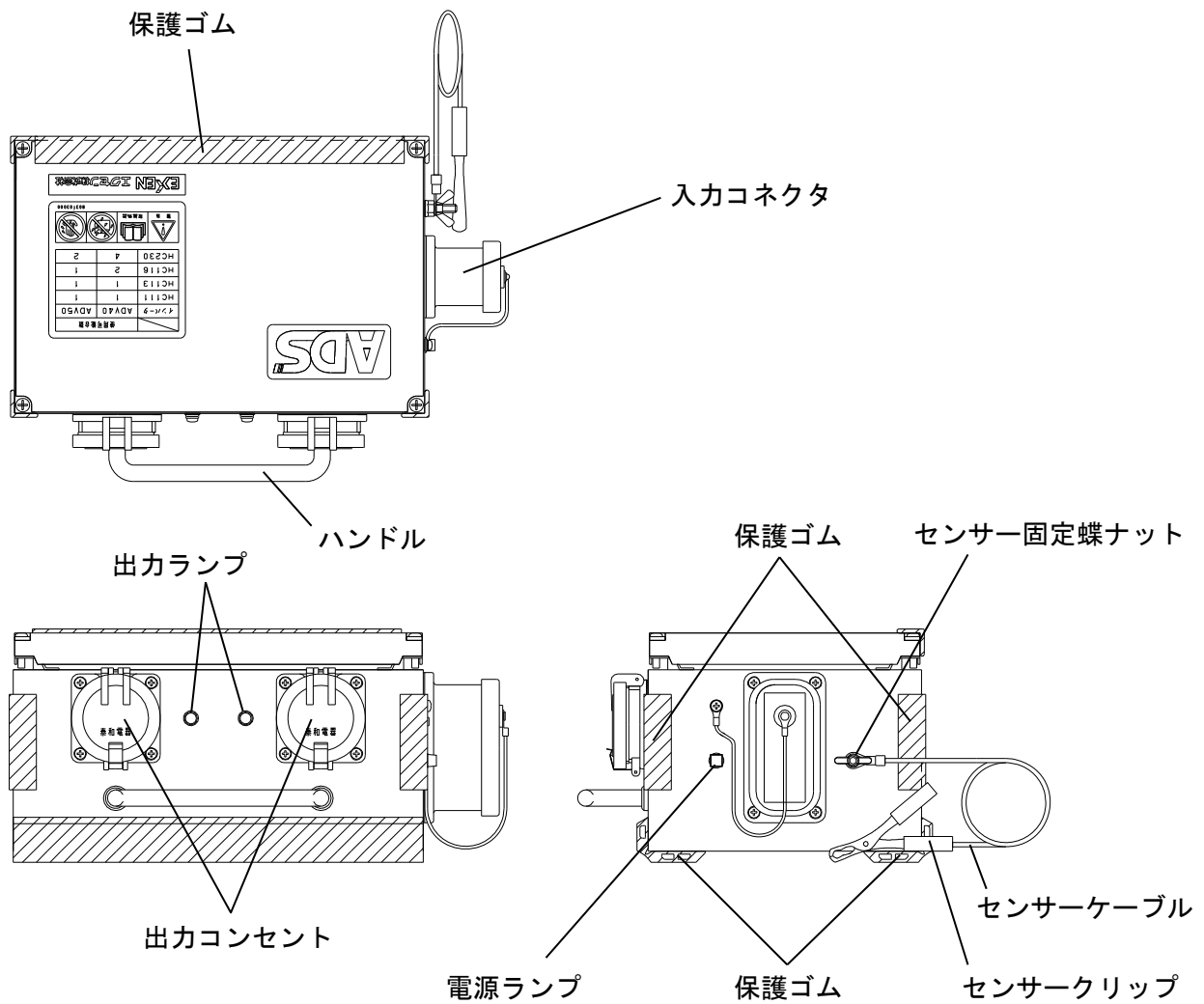
※ 上表にない電源機器を使用する場合、電源機器の使用可能台数の“－ 1”台を目安にバイブレータを使用してください。

○ システム構成



- ADV型バイブレータとADSとの接続は専用丸型プラグになります。ADV型バイブレータをインバータ、または発電機に直接接続する場合は変換コードを使用してください。その際、自動運転機能は使用できません。

○ 各部の名称

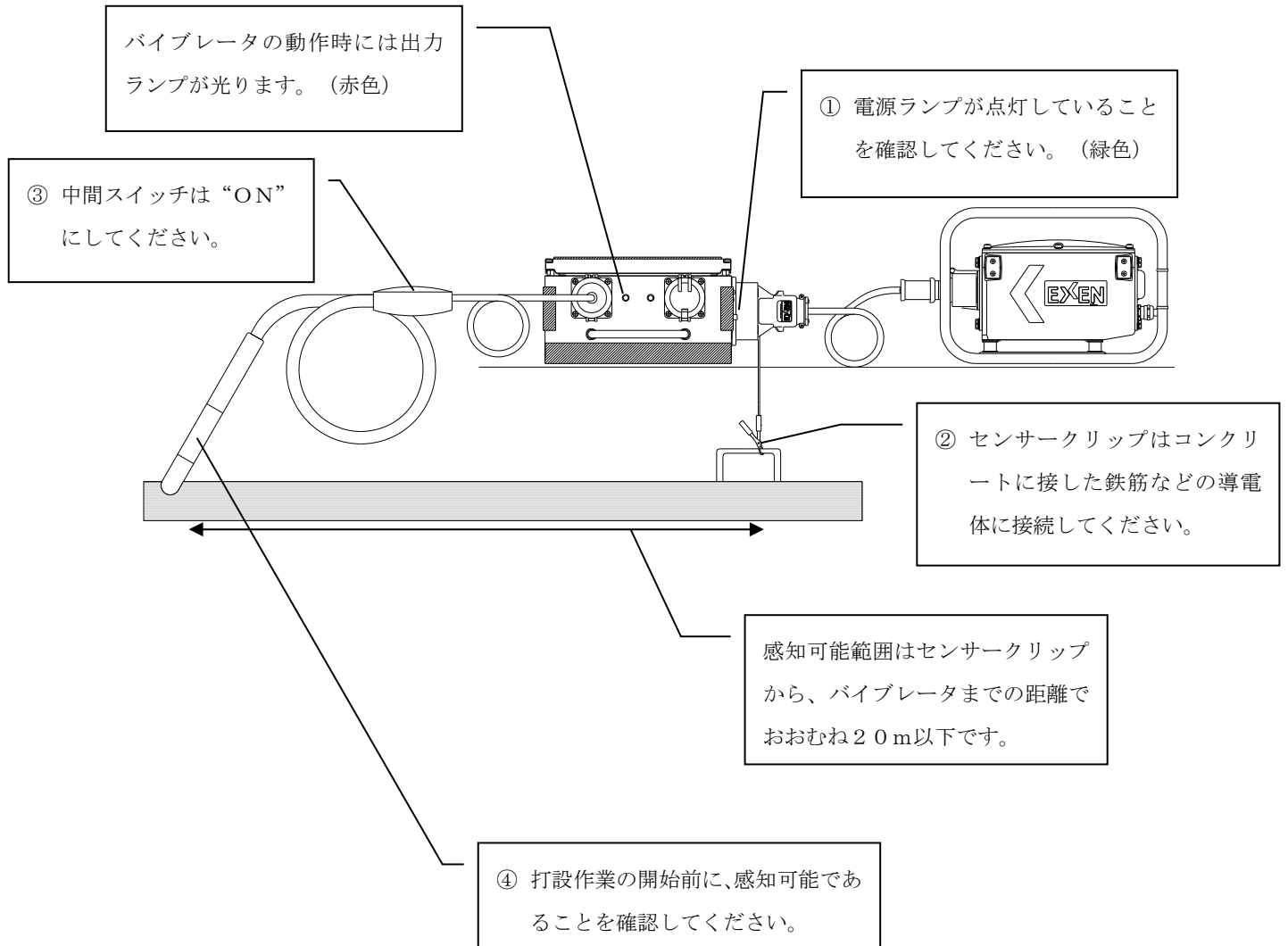


○ 操作上の説明

 **この製品を接続する場合は必ず電源機器の入力電源が“OFF”であることを確認してください。電源機器の運転中に接続作業を行うと感電する恐れがあります。**

1. 中間コードを使用して電源機器の出力コンセントに片方を接続し、もう一方をADSの入力コネクタに接続します。
2. ADV型バイブレータのプラグをADSの出力コンセントに接続します。
3. センサークリップを打設するコンクリートに接した鉄筋などの導電体に接続します。
4. 電源機器とADSを起動させます。
5. 起動後、ADSの入力コンセント隣の電源ランプ（緑色）が点灯していることを確認します。
6. バイブレータのホースを持って振動部を吊り下げて支えます。
7. ADV型バイブレータのスイッチを“ON”に入れます。
8. センサークリップを取り付けた導電体にバイブレータを当て、バイブレータが作動することを確認します。
9. 以上で準備は完了です。この状態でバイブレータをコンクリートへ挿入すると自動的にバイブレータが動作を開始します。また、コンクリートから引き抜くと自動的に動作が停止します。
※ バイブレータが動作している場合は出力コンセント横の出力ランプ（赤色）が点灯します。
※ 自動運転の感知可能な距離はコンクリートの状態や本製品の設置状況によって異なりますが、センサークリップ取り付け箇所を中心に、おおむね20m以下の範囲です。
10. 打設が終了したらバイブレータのスイッチを“OFF”にし、プラグをADSの出力コンセントから取りはずします。
11. 電源機器を停止させます。

○ 接続例および動作確認



※ 感知可能な範囲はコンクリートの状態や鉄筋の配置により大きく変化しますので、設置後に必ず動作の確認を行ってください。

○ 使用後の清掃・搬出

- 使用後はきれいに清掃してください。
- 1. A D S に付いたコンクリートは固まる前に落としてください。
- 2. 出力コンセントや入力コネクタに付いたほこりやコンクリートはきれいに落としてください。
- 3. センサークリップに汚れや錆が付着していると自動運転の感度が低下します。使用後は付着した水分、コンクリートはきれいに落としてください。
- 4. 持ち運びの際はハンドル部分を持ってください。

○ 点 検

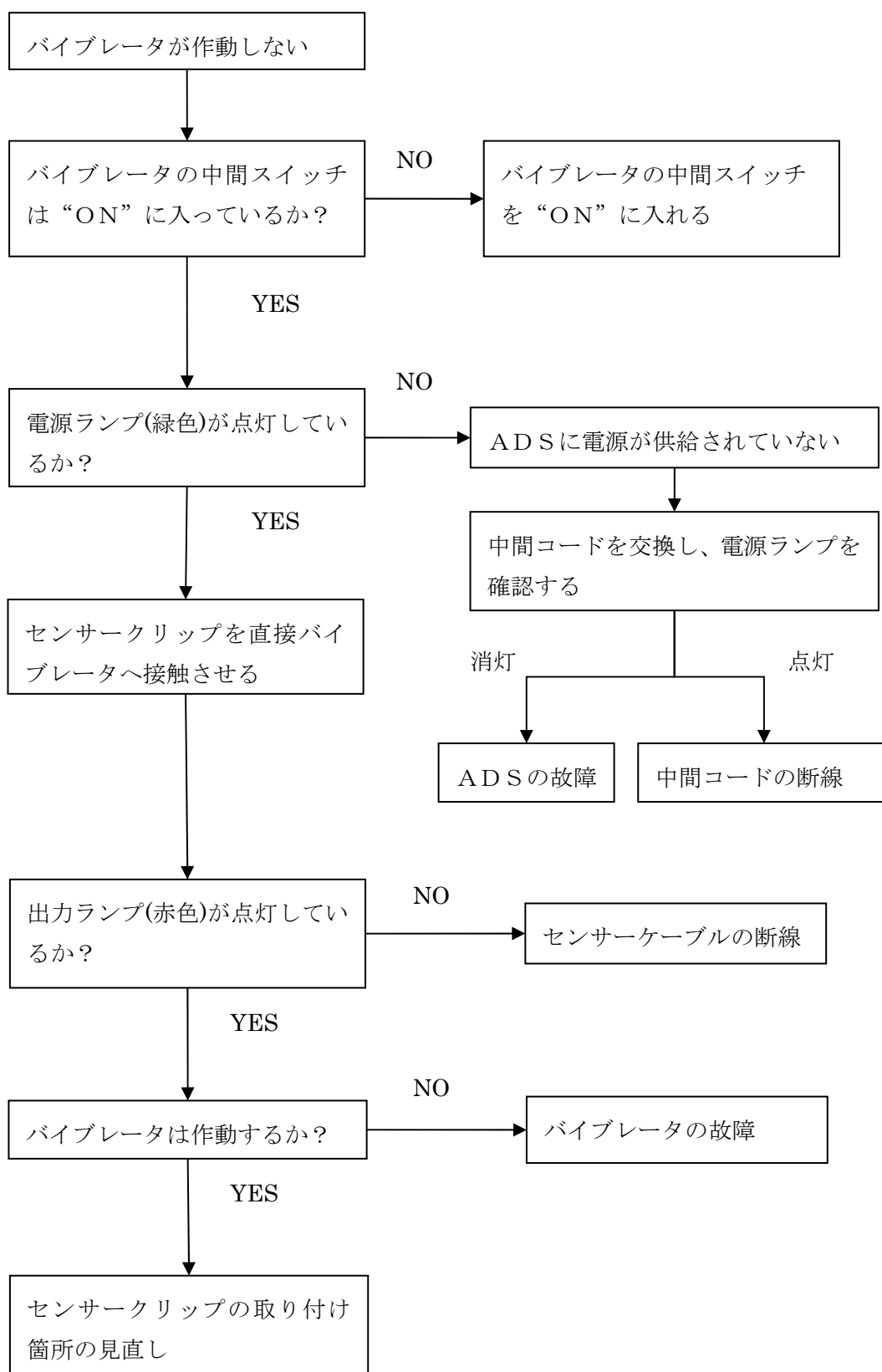
- 現場へ搬入する前と使用後は必ず次の項目を点検してください。使用中のトラブルをできるだけ少なくするためです。
- 1. 出力コンセントの接続子に汚れや摩耗など発生していないか？出力コンセント本体に破損はないか？
- 2. 入力コネクタの接続子に汚れや摩耗など発生していないか？入力コネクタ本体に破損はないか？
- 3. A D S に接続する中間コードに摩耗や亀裂など発生していないか？
- 4. A D S の出力・電源ランプが破損していないか？
- 5. センサークリップに汚れや錆がないか？センサーケーブルに摩耗や亀裂、断線など発生していないか？
- 6. センサー固定蝶ナットが緩みなく締め付けられているか？

○ 故障診断

○ 故障診断の前に

1. 本製品はADSとADV型バイブレータ間がコンクリートを通して電氣的につながることにより、バイブレータの挿入を感知しています。
センサークリップの取り付け箇所が絶縁体である場合や、取り付け箇所が打設するコンクリートと接触していない場合など、ADSとADV型バイブレータ間が電氣的に絶縁状態の際は正常な感知ができません。また、コンクリートの状態や鉄筋の太さなどにより感知可能範囲は変化します。
2. バイブレータが作動しない場合、センサークリップをバイブレータに直接接触させて作動することを確認してください。作動する場合は上記の点を踏まえた上で、センサークリップの取り付け箇所を変更してください。
3. センサークリップの取り付け箇所を変更してもバイブレータが作動しない場合や、ADSの各ランプが点灯しない場合は、次ページのチャートをご参照ください。
4. 修理やオーバーホールをする場合は最寄りの支店・営業所にお申し付けください。

○ トラブルシューティング

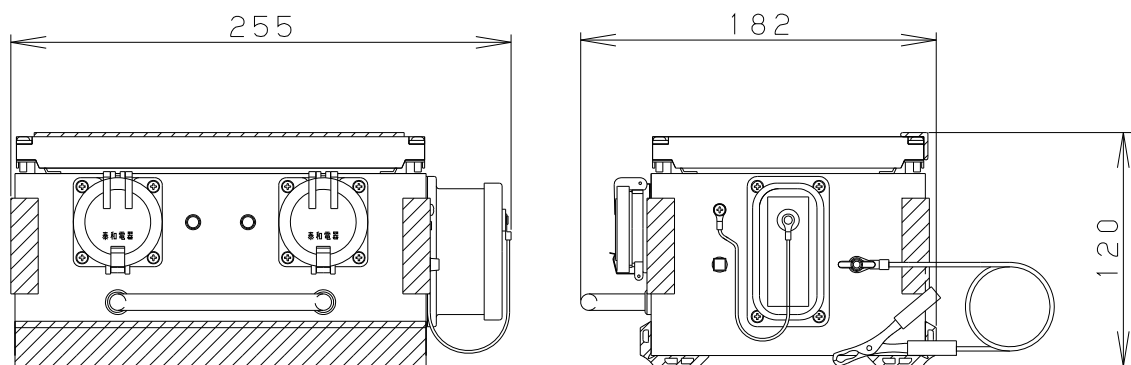


○ 仕様・製品寸法

■ 仕様

型 式	入力電圧 (V)	入力電流 (A)	出力コンセント数	質量 (k g)
A D S	4 8	3	2	6.75

■ 製品寸法図



※ センサーケーブル 2 m



本社	〒105-0013	東京都港区浜松町 1-17-13	TEL 03-3434-8455	FAX 03-3434-1658
草加工場	〒340-0003	草加市稲荷 5-26-1	TEL 048-931-1111	FAX 048-935-4473

<https://www.exen.co.jp/>